

- 病院は地域内に必要であるが、場所は、機能・規模との関係から検討してほしい
- 安心して受診できる無料低額診療機能、結核や精神（アルコールや薬物依存治療）などの診療科の充実が必須であり、入院病床も一定規模必要である
- 子育てファミリー世帯の居住をすすめるため、小児科は必須である
- 病院運営（経営・臨床）の安定性を考えて、経営側（担当局）の方針を整理してほしい
- 診療科・規模とあわせて移転先について、地域と十分協議をしてほしい

■現状・全体意見

【現状】

- 施設の概要
 - ・4フロア 3,800㎡
 - ・80床あるが使用しているのは60床ほど
 - ・入院は30人ほど
 - ・外来は200人/日
 - ・精神科は週2日
 - ・曜日が決められていて受けられない
- お金がない人や保険のない人の大事な寄りどころ
- 交通アクセス、赤バスの課題
- 入退院を繰り返す人が多い
- 女性の入院にハードルがある
- 医療センターはタダではない
- 経営のシステムが崩れている
- 市立更生相談所の廃止の影響

【基本の考え方】

- お金が無い人や保険の無い人の大事なよりどころ
- 誰が利用しているのか？地域の人、野宿者、労働者？
- 将来のニーズを見すえた機能を考えるべき
- 特化型で内実を議論すべき
- 民間と社医センの役割分担はどうするのか？
- 治療、自立生活に繋げることで、医療費の抑制につながるのでは
- 福祉システム このままでいいのか？
- 医者は患者との関係を築くことが重要
- 運営の継続性、赤字を減らして継続的に
- 無料低額は継続できるのか？
- ファミリー層が利用を遠慮してしまう

■これからの機能

- 地域との関係
 - ・地域に根ざした病院
 - ・地域と協力して維持していく
- 総合化、専門化、どちらでいくのか、決めるのが先
 - ・専門化、総合化どちらもメリットはある
 - ・医療センターを運営している人の話を聞くべき
 - ・診療所が変わったならなにもできない（手術など）
- 総合病院機能（複合的な医療）
 - ・ファミリー層などの新規居住のためには必要（特に小児科、現状は子育てニーズに対応出来ていない）
 - ・最先端の研究所を医療センターの中に作る（高度医療、先進医療）
 - ・総合化の場合、規模が大きくなるのをどうする？（大病院化しようというわけじゃない）
- 専門病院機能
 - ・すべての機能を持たすことは難しい→「結核」「精神」などを充実
- 診療科目などを充実すべき
 - ・小児科が必要（結核イメージとマッチしない）
 - ・アルコール課題についても治療できる精神科を
 - ・精神科（訪問診療も）、アルコール依存、高齢者、合併症、結核機能を備えた複合的医療
 - ・水、金の診療を毎日
 - ・入院のできる社医センが必要
 - ・医療、在宅、地域連携ができるシステムを→PSW、MSWの配置が重要
 - ・退院後すぐ再発する、あとの体制も必要（居宅介護）
- 結核について
 - ・結核患者の入院機能
 - ・結核の治療には西成は向いていない？
- 相談機能（生活をサポートする新しい福祉）
 - ・地域連携室を設置してほしい（専門の相談）
 - ・精神的、生活や社会復帰、安定した生活に繋げていく相談機能
 - ・適した職を与える仕事のサポート
 - ・退院してからのシステム
- 医師・医療スタッフ
 - ・志のある医師が継続的に（長期に）勤務できるように
 - ・専門相談や医療従事者が必要（アルコール、薬物）
 - ・他の医療機関へもつなぐ事が出来る人（他の機関と連携）
 - ・地域関連の研修（地域のことを知ってもらいたい）
- 3,4Fに避難場所を
 - ・日常は図書館などに利用
 - ・医師がいる場所だと安心する
 - ・隣接でもよい
- 無料低額
 - ・無料低額の継続
 - ・MRIや高度の医療器械を無料低額は難しい

■必要な規模

- 今の規模が必要か
- 入院病床も必要
- 将来必要な機能を考慮した規模構成
- 総合病院化すれば、規模が大きくなる
- 病院としては、現状は小さい